

相互提案協働事業 報告書

平成23年5月14日

(あて先) 鎌倉市長 様



住所 [REDACTED]  
郵便番号 [REDACTED]  
団体名 キープ鎌倉クリーン推進会議 (略称 KKC)  
代表者氏名 高田 晶子 [REDACTED]

平成23年度協働事業の実施状況・実施結果について、下記のとおり報告します。

事業名	鎌倉市落書きのないまちづくり事業
事業概要	鎌倉市役所と市民団体が協働で落書きの発見・消去・記録を行う事業
市担当課	環境保全課
事業実施期間	開始 平成 23年 4月 1日 ~ 継続 [終了] 平成 24年 3月 31日
協働の形態	
事業費	150,000円

<p>事業目的の達成</p>	<p>&lt;達成できた点&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大きな落書き、貼り紙などの減少が顕著になった</li> <li>2. パトロール実施ルートと分担とで毎月の件数や実態が定量的に把握・整理・分析できた</li> <li>3. 追跡調査などフォローアップができるようになった</li> <li>4. パトロール時の発見、ノウハウの共有と蓄積ができた</li> <li>5. 今後への提言と課題の整理ができた</li> <li>6. 落書き、貼り紙の迅速な対応が1年間維持できた</li> <li>7. 環境保全課は、市民・事業者へ落書きへの関心喚起の通達を発信した</li> </ol> <p>&lt;達成できなかった点&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 落書きゼロの状態を将来に亘って無理なく継続できる体制をつくるまでに至っていない</li> <li>2. 「落書き・貼り紙ゼロ」に取り組む意識・行動の広がり不十分</li> <li>3. 「鎌倉では落書きしたら直ぐ捕まる」という状況づくりが出来なかった</li> <li>4. 今回組織化された分担パトロール体制では要員不足のため、個人的労力負担過多の地域が生じた</li> <li>5. 特定少人数による落書き・貼り紙が、依然として継続的に横行している</li> <li>6. 行政（市・県土木・警察）、事業者（東電・JRなど）、市民（NPO）からなる連絡会が実施できなかった</li> </ol>
<p>成果・効果</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 他の自治体と比べると、当市は落書きほぼゼロの状態が保たれている稀少な自治体とすることができた</li> <li>2. 本事業に認定されたことで、NPO会員の精神的なモチベーションが格段向上し、誇りをもって活動出来るようになった</li> <li>3. 長期間放置されていた落書き等を全件消去したので、新規落書きの迅速発見が可能となった</li> <li>4. 新規落書きの迅速発見により、犯行の人的・地域的・時間的特徴の絞り込みができた</li> <li>5. 犯行の地域的・時間的特徴が把握できるようになってきたため、実行犯逮捕に繋げるための効率的方策を策定し易くなった</li> </ol> <p>【特記事項】</p> <p>7月から9月にかけて常習犯が腰越海岸の擁壁に落書きをし、書かれては消すバトルを4回繰り返した。所管の藤沢土木は、落書きしてもふき取りやすいように、900㎡の擁壁に落書きペンキが乗りにくくするため下地も含め、4層の塗料を施し、徹底した鎌倉の落書き防止活動に伝えてくださった。</p> <p>今後の見回りを密にし、良好な景観を維持したい。</p>
<p>課題・問題点 (解決・改善の方法についても記入)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 落書きは犯罪であり、器物損壊罪という刑事罰が科せられるのに、現状は軽微ないたずら程度の認識が罷り通っていることが問題</li> <li>2. 防犯カメラの設置など、犯人逮捕に向けた積極的な施策が求められる</li> <li>3. 協働事業は終了。その後の施策如何によっては、この活動が元の木阿弥になりかねないことを危惧している</li> </ol>
<p>今後の展望</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 落書き消去に対する非協力者のための条例整備 理由：鎌倉市内は協働事業により落書き発見に努め「書かれたら直ぐ消す」をモットーに、常時落書きゼロを保つように努力しているが、非協力的な事例もあり、問題の解決に至らなかった。</li> <li>2. 鎌倉の落書きは常習者が8割を占めており、犯人逮捕の方策が望まれる。</li> <li>3. 市長会が落書き防止県条例制定を要望。県条例制定により、自治体連携による落書き防止体制が築かれることを期待。</li> </ol>

添付資料

・平成23年度落書き・貼り紙年間報告一覧表

[平成23年度(2011)落書き・貼り紙発見処理一覧表] 資料作成:キープ鎌倉クリーン推進会議

月(H23年度)	落書き形態		貼り紙形態		月合計	処理有無		未処理 所在
	タグ	絵	手書き	印刷		処理済	未処理	
4月	25		5	2	32	26	6	
5月	13		9	7	29	29	0	
6月	25		21	16	62	62	0	
7月	62		82	9	153	153	0	
8月	92	1	72	12	177	177	0	
9月	36		15	3	54	54	0	
10月	32		14	4	50	50	0	
11月	16		11	4	31	31	0	
12月	13		15	3	31	31	0	
1月	6		6	2	14	14	0	
2月	8		9	1	18	18	0	
3月	21		7		28	28	0	
累計	349	1	266	63	679	673	6	
合計	350		329					
総合計			679					

2011年度協働事業(平成23年度)キープ鎌倉クリーン推進会議 会計報告

自 2011年4月1日  
至 2012年3月31日

収 入 150,000円  
支 出 150,000円  
次年度繰越金 0円

【収入明細】

費目	金額(円)	内 訳
協働事業費	150,000	鎌倉市
利子	0	
合計	150,000	

【支出明細】

費目	金額(円)	内 訳
通信費	0	
印刷費	14,266	インク、コピー
事務費	315	消耗品
活動費	48,105	月次報告、プラシ
交通費	72,000	落書きパトロール交通費補助
懇談会資料	15,314	事業所等との懇談会資料作成
合計	150,000	

上記の通り会計報告致します。

2012年3月31日

会計



会計監査





平成 24 年 5 月 31 日

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート

(H23 年度)

事業名 : 鎌倉市落書きのないまちづくり

担当課名 : 環境保全課

市民活動団体名 : キープ鎌倉クリーン推進会議

評価項目		役割担当		理由	
		市民活動 団体	行政担当 課		
1	事業着手前	事業の協定書作成に当たり十分な話し合いができたか	○	○	
2		事業の協定書作成に当たり対等な立場で話し合いができたか	○	○	
3		事業の協定書の内容は充分であったか	○	○	
4	事業実施過程	事業は当初の事業計画どおりに行われたか	○	○	
5		事業は対等な立場で進められたか	○	○	
6		事業は互いの特性や資源を活かしあいながら進められたか	○	○	
7		事業は課題認識、目的、プロセスを共有し協力して進められたか	○	○	
8		課題が出た時、話し合いの場が持て解決できたか	○	○	
9	事業実施結果	設定された目標（評価項目）は達成されたか	△	△	落書き総数679件、未消去6件(約1%)、落書きゼロには至りませんでした。
1 0		予算の執行は予定通りであったか	○	○	
1 1		定められた役割分担は妥当であったか	○	○	
1 2		定められた役割分担は守られたか	○	○	
1 3		市民サービスは向上したか	○	○	
1 4		市民と行政の協働事業は効果があったか	○	○	
1 5	今後の事業展望	事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点も含めた総括 (相互協議のまとめ)	(まとめ) 鎌倉市落書きのないまちづくり協働事業は 23 年度にて終了しましたが、落書きについては、キープ鎌倉推進会議との連携は必要不可欠と考え、今後も連携を実施していくことになりました。		

各々の評価は 達成：○（10ポイント） まあまあ：△（5ポイント） 不達：×（1ポイント）